

第48期富士見市民大学公開講演会

令和7年

12月6日(土)

13:30~15:30

「貧困」の中に生きる 少女たちのリアル ～女性の貧困と性搾取～

講師 仁藤夢乃氏 Colabo 代表

日 時 令和7年12月6日(土) 13:30~15:30

場 所 鶴瀬コミュニティセンターホール

講 師 仁藤夢乃氏 Colabo 代表

参加者 64名

講演内容(要旨)

少女を売春させる社会構造と買う側、性売買業者の存在に目を向ける必要がある。

少女は被害者として保護されるのではなく、自己責任として補導され、人権が守られているとは言いがたい管理下におかれる。しかし、一方の当事者である買春した男たちに対する責任や罰則は軽い。買春者と性を買われる女性の関係性も、同等な関係ではなく、金銭による支配と性搾取であることを忘れてはならない。

仁藤氏自身も、渋谷で徘徊していた高校時代から、大学に入学したものの、同世代の大学生が、性搾取の実態をほとんど知らないことに気付き、今につながる活動を始めたそうだ。居場所がない少女のために、渋谷に Colabo バスを歌舞伎町に乗り付けて、カフェ開店、私たちは「買われた」展開催など、少女たちの支援、市民への啓蒙活動など精力的に行った。その活動は 2018 年に東京都若年女性支援モデル事業に選定され、2021 年に本事業化された。

しかし 2022 年から Colabo に対する「会計不正」などのデマがネットで拡散(のちに名誉毀損裁判で勝訴)。妨害、嫌がらせもひどくなり、危ないからと、当局から自粛を求められた。危ないところ



に少女たちがいるのに。行政に頼ることはできないなと感じた。民間でやっていくしかない。

「行政や大人に不信感を持っている少女の支援が成り立たなくなる」として、現在は活動資金のほとんどが市民による寄付や会費で成り立っているのだ。

「嫌がらせにも屈せず、追い出されるおそれのない場所」としての民間による女性人権センターが必要だと考えた。

本日の聴衆の多くの皆さん、心あるシニアの支援によって、私たちの活動が続けてこられました。今後も続けられるように、女性支援センター設立に向けて、多くの支援をお願いします。

女性人権センター建設プロジェクト

寄付ページ: <https://congrant.com/project/colabo/17660>

HP: https://colabo-official.net/projects/colabo_center.html

